

CSR課題項目と取り組みについて

— 全社項目に関するアクションプラン

P5で述べた85項目のCSR課題に対して、昨年度、自己評価をしてCSR報告書でも報告しました。これらの課題に対して、短期・中長期でアクションプランを策定し、全社で活動を進めていくこととしています。このページでは、主として本社部門が牽引し全社的に推進していく項目の一部について、自己評価とアクションプランを紹介します。

【昨年度報告で自己評価が低かったもの、重要と認識し今後注力していきたいもの(今年度既に実施したものを含む)を中心に掲載します。】

★これから取り組みたい ★★ある程度は取り組んでいる ★★★かなり取り組んでいる ★★★★十分だがさらに向上させていきたい
※昨年の報告書から継続して開示している項目

領域	個別項目と定義(ありたい姿)	現状評価 (前回からの進展)	参照 ページ	
全般	CSR全般	川崎重工グループのCSRの意味や位置付け、領域、テーマを社内に周知し、全従業員が認識している※	★★★	P6
		川崎重工グループとしてステークホルダーの意見や評価を聞く仕組みがあり、企業活動・事業活動に反映している	★	P5
ステークホルダー	コンプライアンス	コンプライアンス・倫理研修を実施しており、実効を評価している※	★★★★	P20
		海外事業において、現地法令遵守を徹底している	★★	P20
	リスク管理	全社的リスク管理の実効を評価している	★★★★	P21
		全社的リスク管理の内容に基づいて、子会社の重要なリスクを把握している	★★	P21
	危機管理	危機管理全体の体制と運用の枠組みを構築している※	★★	P22
		災害時に優先的に継続または復旧する重要業務を事業部門ごとに定めた事業継続計画を作成し、定期的に見直しを実施している	★★	P22
	情報セキュリティ	情報、情報システムのバックアップ、復旧計画を整備しており、定期的に見直している	★★★★	P22
	情報開示	情報開示の基本方針を公開している※	★★★★★	P23
		株主・投資家コミュニケーションを積極的に実施する	★★	P23
	取引先	調達基本方針を公開している	★★★★★	P24
お取引先に対し、CSRマネジメントの実施を要請し協働している		★★★★★	P24	
従業員	安全・衛生	労働安全衛生マネジメントシステムの適切な運用と継続的な改善を行っている※	★★★★	P28
		安全、衛生、メンタルヘルス等の法令を上回る取り組みを行っており、今後さらに追加的な取り組みを行う※	★★★★★	P28
	人財開発	事業戦略を踏まえた従業員育成の長・短期方針・目標を設定し、取り組みを行っている※	★★★★★	P25
		定年までのキャリアを踏まえた育成の長・短期方針・目標を設定し、取り組みを行っている	★★★★★	P26
	人権	女性管理職登用、障がい者雇用の方針、目標を設定し、取り組みを行っている	★★	P26
		能力や実績を公正に評価し処遇に反映させる取り組みを行っており、今後さらに追加的な取り組みを行う※	★★★★★	
	労働	仕事と育児の両立支援の法令を上回る取り組みを行っている※	★★★★★	P26
		労働組合や従業員代表との対話を行い、信頼関係を構築している※	★★★★★	P27
環境	環境情報の把握の範囲はグループ全社・海外を含む	★★	P33	
	国内・海外のグループの排出削減目標を開示している	★★	P33	
	事業活動での利用エネルギー量を把握し、削減目標も含めて公開している	★★		
社会貢献	社会貢献活動の基本方針を制定し公開している※	★★	P35	
	地域・日本社会	自社で企画・主催する貢献の自主プログラムを推進している※	★★★★	P36

対応	
短期	中・長期
部門ごとにCSRへの理解の促進を図るために必要なツールを作成する	より効果的な方法を検討・導入していく
試験的にステークホルダー等との対話の会を実施する	テーマごとまたはステークホルダーごとの対話の会を定期的実施する
全社・各カンパニー共通重点活動を実施することにより、コンプライアンス意識の向上を図る。各階層別教育の中でコンプライアンス意識の浸透を図る研修を実施する	短期の対応に加えて、研修を実施する海外現地法人では独自の体制で自主的に教育を行う
2010年度に実施した教育の現状調査結果を踏まえ、教育実施・意識徹底案を策定する	対象部門を広げていく
全社的リスク管理における全社として重要なリスクとリスク対策の実施状況のモニタリングおよび重要リスクの見直しを定期的実施し、運用にのせる	全社的リスク管理について有効なモニタリングを実施するとともに、監査部門によるリスク管理の運用に対する監査を実施し実効性の評価を確実なものにする
全社的リスク管理の取り組みを国内重要子会社に展開し、グループとして全社的リスク管理体制の構築とリスクの管理を進めていく	全社的リスク管理の取り組みをその他国内子会社や海外子会社に展開し、グループとしての全社的リスク管理体制を構築する。また、この体制のもと、グループ全体で重要リスクを特定するとともに合理的かつ最適な方法でリスクを管理する
危機管理対策機構のメンバーが常に最新の状態に維持・更新されている。災害を想定した訓練を通し、危機管理対策機構メンバーが自らの役割を認識している	災害を想定した訓練を通し、危機管理対策機構メンバーが自らの役割を認識し、有事の際の対応力を高める。訓練に二次災害防止、地域貢献・共生の要素を導入する
各事業部門・各事業所がそれぞれの特性に合わせた事業継続計画を作成し、優先度を考慮しながら平時の準備を進める	各事業部門・各事業所がそれぞれの特性に合わせた事業継続計画を作成し、定期的に見直しを実施する
重要な情報システムのプログラムやデータが遠隔地へバックアップできている	復旧訓練の結果に基づく遠隔地バックアップや復旧計画書の見直しを実施している
「ディスクロージャーポリシー」を2011年4月に公開済み	
四半期ごとの業績に関する説明会(機関投資家・アナリスト対象)の実施、決算発表時の主要質疑応答要旨のWebサイト上での公開	各種IRイベントやWebサイト上で公開する情報のさらなる充実
「資材調達基本方針」および「資材取引先との取引における行動指針」を2011年4月に公開済み	
上記調達基本方針をベースにお取引先に求めるコンプライアンス、情報セキュリティなどのCSRマネジメント方針を検討する	CSRマネジメント方針について、お取引先へ協力を要請する文書を送付するお取引先の要望に応じ、CSRマネジメントに関する研修を実施する
全事業所において、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、運用と継続的改善を図り、システムの向上と抜けない安全衛生管理を展開する	全事業所において、労働安全衛生マネジメントシステムの外部認証取得を目指す
①危険体感教育、5S、相互注意、各種安全点検/パトロール等の取り組みを実施する ②メンタルヘルス対策、生活習慣病対策、職業性疾病预防対策、職場環境改善等の取り組みを実施する	関係会社を含めて活動内容の情報を共有化していく
「マネジメント力・業務遂行力の強化」「現場力の向上」「グローバル人材の育成」の3つの人材育成方針に従い従業員育成施策を実施する	グループミッション達成に必要な人材を育成するため、継続的に育成施策を実施する
キャリアプラン研修の階層別展開を検討・実施する	長期的視野に立って従業員の教育、ローテーション、適正配置を行う
①女性社員のロールモデルの可視化や所属長への女性部下育成支援などを行う ②障がい者の積極的な採用を行い、法定を上回る雇用率を維持する	①女性社員についても男性社員と同じ比率で管理職登用を行う ②障がい者の活躍できる職場を増やし、雇用率を引き上げる
従業員への人事考課制度の説明や、評価者教育を継続的に実施する	新しい賞与制度の導入、幹部職員制度の改定等の諸施策を実施する
関連制度の改善とともに、制度の使いやすしい職場環境づくりを行う	次世代育成支援行動計画目標(計画期間2015年まで)を達成する
①労働組合と各種労使協議を開催する ②従業員意識調査を実施する	①労働組合と各種労使協議を開催する ②従業員意識調査を定期的実施する
環境情報の把握範囲を国内連結子会社全社と主要海外子会社に拡大する	海外を含むグループ全体の環境情報を把握する
排出削減目標の範囲を国内・海外のグループ全体で設定するための手法について検討を進める	海外を含むグループ全体の排出削減目標を当社Webサイトなどで開示する
利用エネルギー量の把握範囲を国内連結子会社全社と主要海外子会社に拡大する 当社の削減目標を公開	海外を含むグループ全体の利用エネルギー量を把握し、削減目標も含めて当社Webサイトなどで開示する
現在の方針(地域共生・次世代育成)をさらに具体化した基本方針を策定する	社会情勢その他を踏まえて定期的に見直しし、追加を検討する
カワサキワールドをさらに効率的に利用した新しいプログラム(子供向けものづくり・工学教室)を企画する	基本方針の見直しの結果を反映した自主プログラムを追加的に企画する